

■デザインコンセプト

「対話」から「創発」を促す環境づくり

「様々な関係者（未来のステークホルダ）を幅広く集め、対話を通じて新たなアイデアや問題の解決手段を見つけ出し、相互協力の下で実践する」フューチャーセンターの機能やデザインスタイルを有するセンターへ

■機能

- ① センター事務
- ② 活動支援／相談／情報提供／インキュベーション
- ③ コワーキング／シェアオフィス
- ④ 工房（印刷・工作等）
- ⑤ ミーティング
- ⑥ ワークショップ（センター利用+授業利用）
- ⑦ カフェ
- ⑧ 図書

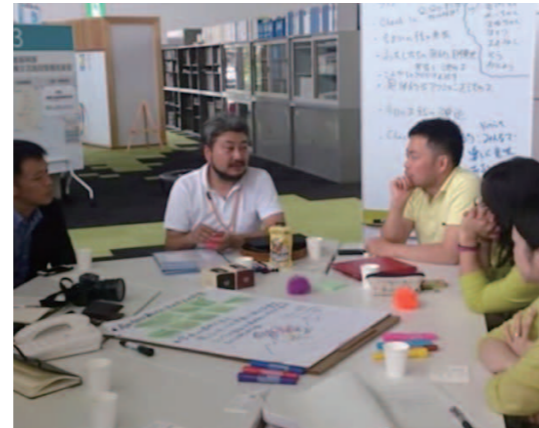
空間イメージ

カフェのようなリラックスして対話ができる空間

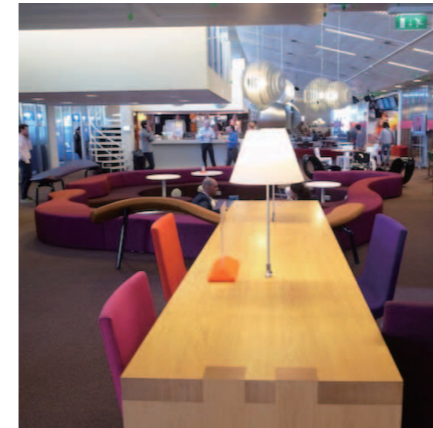


福知山市広小路のカフェ「古本と珈琲 モジカ（まちの場）」

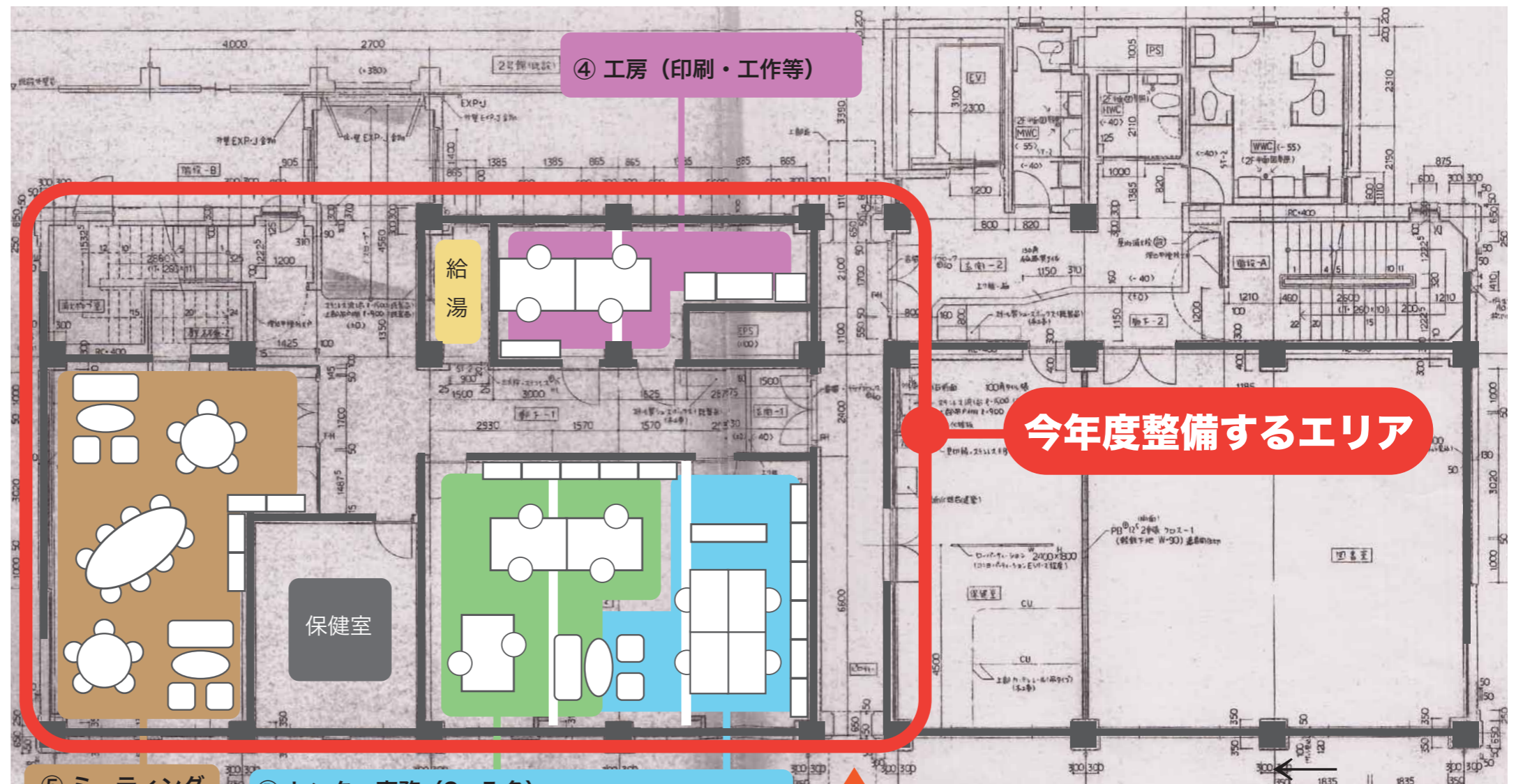
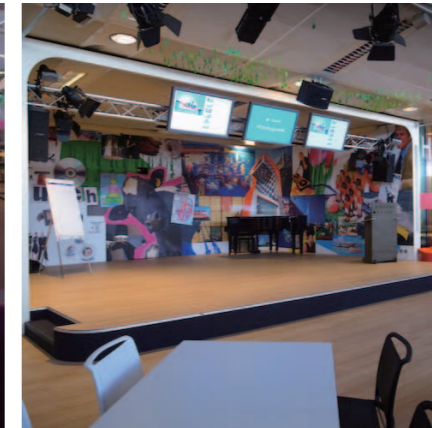
「対話」→「協働・集合知」→「イノベーション」を生み出す空間設計



富山県氷見市 市庁舎



アムステルダムで銀行が運営するフューチャーセンター「ダイアログハウス」



- ⑤ ミーティング
- ⑦ カフェ
- ⑧ 図書

- ① センター事務（3～5名）
- ② 活動支援／相談／情報提供／インキュベーション

- ③ コワーキング／シェアオフィス
会員制：団体 10、個人 30～50人

↑
玄関